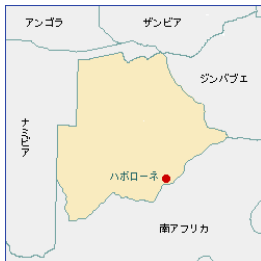




ボツワナ共和国 (Republic of Botswana)



- ボツワナへの援助総額は2014年までに累計123億円。
- アフリカで唯一の地デジの日本方式採用国であり、日本は、地デジの全国普及のための技術協力を行っている。
- 日本はかつては発電所などインフラ整備を含む協力を行ってきたが、ダイヤモンド生産額世界第2位を背景に中高所得国になった事に伴い、最近では技プロ、研修等人材育成を中心に協力を実施。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 56.7万平方キロメートル(日本の約1.5倍)
- ・人口: 約226万人(2015年, 世銀)
- ・首都: ハボローネ(首都人口約23万人)
- ・民族: ツワナ族, カランガ族, バサルク族
- ・言語: 英語, ツワナ語
- ・宗教: キリスト教, 伝統宗教
- ・政体: 共和制
- ・議会: 一院制(63議席, 任期5年)
- ・GDP: 143億ドル(2015年, 世銀)
- ・一人あたりGDP: 6,361ドル(2015年, 世銀)
- ・経済成長率: -0.3%(2015年, 世銀)
- ・失業率: 18.2%(2014年)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1885年	英国保護領となる
1891年	駐南ア英国高等弁務官の管轄となる
1966年	独立(カーマ初代大統領)

援助実績

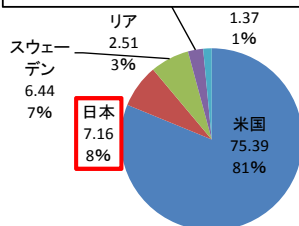
スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	219.8億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	42.6億円 (2014年度末時点)
技術協力	70.5億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ285人 (2016年9月時点で14人)
シニア海外ボランティア	延べ41人 (2016年9月時点で2人)

出典: ODA国別データブック2015

青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)

(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

ボツワナへの主要ODA供与国 (2013年実績, 出典: OECD/DAC) (単位: 百万ドル)



経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からボツワナへの輸出	39億円 (2015年, 財務省貿易統計)
ボツワナから日本への輸出	129億円 (2015年, 財務省貿易統計)
在ボツワナ日系企業数	5社 (2015年10月時点, 外務省統計)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ボツワナにおける在留邦人数	89人 (2015年10月時点, 外務省海外在留邦人数調査統計)
在日ボツワナ人数	59人 (2015年12月時点, 法務省在留外国人統計)
ボツワナから日本への留学生数	21名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)

日本とボツワナ共和国との協力年表

年代	案件
1966年	ボツワナは英国の保護領から独立, 日本はボツワナを国家承認し, 外交関係樹立
1981年	日本初の政府間開発協力(教育省に対する無償の理科実験機材供与)
1986年	モルプレ(A)火力発電所拡張のための円借款(21億円)を供与(ボツワナへの初の円借款)
1991年	カラハリ横断道路建設のための円借款(約37億円)
1992年	●青年海外協力隊第1号を派遣 ●マシーレ大統領(当時), 日本を公式訪問(同大統領は副大統領時代も含め計4回訪日)
1993年	青年海外協力隊事務所設立
1995年	南北導水管建設のための円借款(約47億円)を供与
1997年	駐日ボツワナ大使館開設
2006年	モハエ大統領(当時)訪日(外交関係40周年記念ボツワナウィーク開催)(同大統領は計3回訪日)
2008年	●在ボツワナ日本大使館開設 ●独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が事務所を開設
2009年	●ハボローネでTICAD IV閣僚級フォローアップ会合開催(福田元総理, 中曽根外相(当時)来訪) ●日本から太陽光発電所建設のための無償資金(約11億円)を供与 ●JICA支所開設
2010年	カーマ大統領, 日本を公式訪問
2013年	●カーマ大統領TICAD Vに参加(同大統領は副大統領時代も含め計3回訪日) ●ボツワナは地デジ日本方式を採用(アフリカで唯一)
2016年	●在ボツワナ日本国大使館は, 日・ボツワナ外交関係樹立50周年を記念してレセプション及び和太鼓公演等一連の記念行事を実施 ●ボツワナ側も渡辺貞夫氏コンサートを開催 ●モラレ公共政策担当大臣がTICAD VI(於: ナイロビ)に出席

2016年は独立50周年及び日・ボツワナ外交関係樹立50周年。

火力発電については, 2016年に丸紅がモルプレ(B)火力発電所増設にかかる独立発電事業をボツワナ政府から受注。

2016年8月現在, 16人のボランティアが活動中。

浄水場, ポンプ場等の建設を支援。水不足が常態化するボツワナ南部において北部からの水は「命の水」。

68か国(うちアフリカから48か国, 37名の閣僚級が参加), 44の地域・国際機関, NGO団体, 民間セクター等, 総勢430人が参加。

発電容量1.3MWの太陽光発電所がナショナルグリッドに接続され, 電力供給に貢献。

2013年6月
安倍総理と首脳会談

レセプションには200名以上が参加。和太鼓の演奏も行われた。

ファンであるカーマ大統領の招待により来訪が実現。

